

原子力システム研究開発事業 令和3年度終了課題

| 番号 | 課題名 | 研究代表者 | 所属機関 | 研究期間 |
|----|--|-------|-------------|--------|
| 1 | 革新炉材料開発のための次世代ナノスケール解析法の開発と照射後実験研究の国際ハブの構築 | 永井 康介 | 東北大学 | H30-R3 |
| 2 | 超伝導量子計測技術を駆使したTRU核種迅速線量評価システムの開発 | 高崎 浩司 | 日本原子力研究開発機構 | H30-R3 |
| 3 | 合理的なMA回収工程の構築に向けた溶媒抽出／低圧損抽出クロマトグラフィを組み合わせたハイブリッド型プロセスの開発 | 佐野 雄一 | 日本原子力研究開発機構 | H30-R3 |
| 4 | 金属積層造形による新規低放射化ハイエントロピー合金の作製 | 橋本 直幸 | 北海道大学 | R2-R3 |
| 5 | 原子炉中性子リアルタイムモニタリングのための太陽電池型線量計の開発 | 小林 知洋 | 理化学研究所 | R2-R3 |
| 6 | 次世代フルセラミックス炉心設計を見据えた多重防食技術の基礎基盤研究 | 近藤 創介 | 東北大学 | R2-R3 |
| 7 | 人工知能(AI)技術を取り入れた核燃料開発研究の加速 | 小無 健司 | 東北大学 | R2-R3 |
| 8 | スピン熱電発電素子による同位体発電システム開発に向けた基盤構築 | 家田 淳一 | 日本原子力研究開発機構 | R2-R3 |
| 9 | 放射性廃液のガラス固化妨害元素(白金族金属、モリブデン)を対象にしたバイオ湿式分離技術の創出 | 小西 康裕 | 大阪府立大学 | R2-R3 |
| 10 | マテリアルズ・インフォマティクスによる核燃料開発 | 黒崎 健 | 京都大学 | R2-R3 |